

社会資本総合整備計画

茅ヶ崎中央西部地区都市再生整備計画

平成 24 年 3 月 16 日

神奈川県茅ヶ崎市

都市再生整備計画(第10回変更)

ちがさきちゅうおうせいぶちく
茅ヶ崎中央西部地区

かながわ ちがさき
神奈川県 茅ヶ崎市

平成24年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	神奈川県	市町村名	ちがさき 茅ヶ崎市	地区名	ちがさきまちのつくり 茅ヶ崎中央西部地区	面積	921 ha
計画期間	平成 19 年度 ~ 平成 23 年度	交付期間	平成 19 年度 ~ 平成 23 年度				

目標

大目標:誰もが安全に安心して快適に暮らせる生活環境づくり

目標1:「地区内の交通移動性の向上」

目標2:「災害に強いまちづくり」

目標3:「生活環境の向上」

まちづくりの経緯及び現況

○本市は、東京都心から約50kmの神奈川県中央部、湘南地域の中心にあり、東京都市圏のベッドタウンとして発展してきた面積35.76km²、人口約22.8万人の住宅都市です。高度経済成長期の昭和35年から昭和55年には、10万人の人口が増加し、急激な過密化とともに、都市化がすすみました。反面、都市基盤整備については、急激な都市化に追いつかず、特に道路・交通・防災等に対する都市基盤の脆弱さや、市民が利用しやすい公共施設への改善の必要性が、浮き彫りになってきています。

○また、本市総合計画では、重点施策として、「安全・安心なまちづくりの推進」を位置づけるとともに、都市計画マスタープランでは、道路・交通体系の整備を進め、生活利便性や防災機能の向上を図ることを方針と定め、施策の推進を図ってきたところです。

○当地区は、本市のほぼ中央に位置しており、JR相模線沿線や地区西部に工業用地、北西部に農用地があるものの、大部分は、急激な都市化に伴い拡大した住宅地です。

○このことから、特に当地区は、骨格的道路網の整備の遅れによる通過交通車両の住宅地内への流入や、多発する大雨による浸水被害、更には、公共交通空白・不便地区の拡大による移動制約者の増加などが問題となっており、市民が安全・安心・快適に暮らせる生活環境づくりが急務となっています。

課題

○都市基盤整備は、急激な都市化に追いつかず、特に道路・交通・防災等に対する都市基盤の脆弱さや、市民が利用しやすい公共施設への改善の必要性が浮き彫りになってきており、市民が安全・安心・快適に暮らせる生活環境づくりが喫緊の課題となっています。

○通過交通車両の住宅地内への流入防止や災害時の避難ルート・物資緊急輸送路として、骨格的道路網の整備が求められています。

○地域防災計画に位置付けられている、避難所などの整備が不十分であり、機能強化が必要です。

○多発する大雨による浸水被害の解消が急務であるとともに、地区内を流れる都市河川の水質を保全し、安全・安心な生活環境をつくるため、公共下水道整備及び河川整備を図る必要があります。

○進展する高齢化などから、増加が想定される移動制約者のために公共交通の利便性向上が必要です。

将来ビジョン(中長期)

○「茅ヶ崎市新総合計画後期基本計画(ちがさきさわやかプラン)」では、幹線道路の整備と防災対策の充実、公共施設の整備(スポーツ施設等)が方針として位置付けられています。

○「ちがさき都市マスタープラン」の交通体系整備の方針では『利便性が高く、環境にやさしい都市交通体系の構築を目指して』を目標に、骨格的な道路網の確立やバス交通の充実強化等を施策として位置付けています。また、都市防災の方針では、『誰もが安心して暮らせる災害に強い都市を目指して』を目標に、避難ネットワークの整備や総合的な治水対策の推進などを施策として位置付けています。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
地区内の移動時間	%	地区内での車輛移動時間に要する時間	骨格となる幹線道路の未整備による交通環境の悪化が問題であるため地区内の平均車輛移動時間の15%短縮を目指す。	100%	平成18年度	85%	平成23年度
防災性の向上	%	地域防災計画に位置付けられた避難施設の整備(耐震化等)率	安全で安心して暮らせるまちづくりのため、災害時に避難所となる小中学校の耐震整備率の向上を目指す。地区内の屋内運動場の100%の耐震化をすすめ、また茅ヶ崎市体育館の整備を行い、避難施設の充実を図る。	64%	平成18年度	107%	平成19年度
生活環境の向上	%	市のアンケートによる茅ヶ崎に「住み続けたい」の回答割合	移動環境・安全性の向上や防災対策、利用しやすい公共施設への整備により、定住意向の向上を図る。	67%	平成18年度	72%	平成23年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>○地区内の交通移動性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通環境改善の根本策として骨格的となる道路網の整備をすすめます。あわせて快適な歩行空間の確保のため歩行者にやさしいバリアフリーな歩道の整備をおこないます。 ・公共交通の利便性を図るため、コミュニティバス運行の社会実験をおこないます。 	<p>方針に合致する主要な事業</p> <p>基幹事業：道路(東海岸寒川線) 基幹事業：道路(市道0116号線《東海岸寒川線》) 基幹事業：道路(新国道線) 基幹事業：道路(市道5634号線《鶴嶺参道》) 基幹事業：道路(市道5163号線《高田萩園線》) 基幹事業：道路(市道0109号線《今宿地区》) 基幹事業：道路(市道0109号線《矢畑地区》) 基幹事業：道路(市道5055号線) 基幹事業：道路(市道5570号線) 提案事業：まちづくり活動推進事業(コミュニティバス運行社会実験)</p>
<p>○災害に強いまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時の避難所として地域防災計画に位置付けられている各小中学校の屋内運動場等の耐震化及び大規模修繕、また飲料水確保対策として茅ヶ崎市屋内温水プールの建設にともない、新たに浄水器を設置し、災害時の避難生活に備えます。 ・医療拠点の周辺部をはじめ、地区内の大雨により浸水する地域に浸水対策を実施することにより、防災性の向上を図ります。 ・防災活動に欠くことのできない地域連携の基盤となる避難路、緊急輸送路の整備をおこなうことで、医療拠点(市立病院)や広域避難場所、避難所(各小中学校等)へのアクセス性の向上を図るとともに、延焼遮断帯として防災機能の強化を図ります。 ・近年の集中豪雨などにより、深刻な浸水被害が発生していることを踏まえ、治水面での対策が重要となっています。千ノ川護岸整備により、浸水被害の軽減を図ります。 	<p>基幹事業：道路(東海岸寒川線) 基幹事業：道路(市道0116号線《東海岸寒川線》) 基幹事業：道路(市道赤羽根甘沼線) 基幹事業：道路(新国道線) 基幹事業：道路(市道5634号線《鶴嶺参道》) 基幹事業：地域生活基盤施設(地震防災対策、松林小学校他4校) 基幹事業：地域生活基盤施設(地震防災対策 茅ヶ崎市体育館) 提案事業：地域創造支援事業(円蔵地区下水道) 提案事業：地域創造支援事業(高田・室田地区下水道) 提案事業：地域創造支援事業(千ノ川護岸整備) 関連事業：下水道事業(上ノ田公園調整池整備事業) 関連事業：茅ヶ崎市屋内温水プール</p>
<p>○生活環境の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通空白地域の解消、縮小を図るとともに地区西部からの市立病院、市役所等へのアクセス性の向上を図るため、コミュニティバスの走行環境、運行事業検討をおこないます。 ・住宅市街地内への通過交通を排除するための幹線道路の整備や、生活道路の歩行空間の整備、交通安全上危険な道路の改良を実施することにより、生活環境の向上及び交通安全性の向上を図ります。 ・生活環境の向上と公共用水域の保全、浸水被害の軽減を図るため汚・雨水管整備及び河川の護岸整備をおこないます。 ・だれもが使いやすい公共施設(スポーツ施設、公園等)を充実させるため、改修整備をおこないます。 	<p>基幹事業：道路(東海岸寒川線) 基幹事業：道路(市道0116号線《東海岸寒川線》) 基幹事業：道路(新国道線) 基幹事業：道路(市道5634号線《鶴嶺参道》) 基幹事業：道路(市道5163号線《高田萩園線》) 基幹事業：道路(市道0109号線《今宿地区》) 基幹事業：道路(市道0109号線《矢畑地区》) 基幹事業：道路(市道5055号線) 基幹事業：道路(市道5570号線) 基幹事業：公園(萩園西公園) 基幹事業：公園(赤羽根第1号公園) 提案事業：地域創造支援事業(東海岸寒川線下水道) 提案事業：地域創造支援事業(市道5634号線《鶴嶺参道》下水道) 提案事業：地域創造支援事業(円蔵地区下水道) 提案事業：地域創造支援事業(高田・室田地区下水道) 提案事業：地域創造支援事業(千ノ川護岸整備) 提案事業：地域創造支援事業(茅ヶ崎市体育館) 提案事業：まちづくり活動推進事業(コミュニティバス運行社会実験) 関連事業：茅ヶ崎市屋内温水プール</p>
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○事業中から事業終了後の継続的なまちづくり活動について ・地域の防災力の向上のため、防災訓練、救急医療体制の充実などを住民と協働・連携しすすめます。 ○交付期間中の計画の管理について ・本都市再生整備計画の管理は、庁内横断的組織として新たに発足した「まちづくり事業研究会」にて、事業間の問題処理や時間経過とともに生じる社会情勢の変化に対応し本計画の見直しなどの管理をおこなっていきます。 ・まちづくりの情報については、ホームページ、広報紙等で地域住民、企業への広報をおこないます。 ○事後評価について ・数値として評価するためアンケート調査を実施し、住民の事業効果に対する実感を事前アンケート結果との比較をおこないます。 	

茅ヶ崎中央西部地区(神奈川県茅ヶ崎市) 整備方針概要図

目標	大目標: 誰もが安全に安心して快適に暮らせる生活環境づくり	代表的な指標	地区内の移動時間 (%)	100 (18 年度)	→	85 (23 年度)
	目標1: 「地区内の交通移動性の向上」		防災性の向上 (%)	64 (18 年度)	→	107 (23 年度)
	目標2: 「災害に強いまちづくり」		生活環境の向上 (%)	67 (18 年度)	→	72 (23 年度)
	目標3: 「生活環境の向上」					

